

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年3月31日
2次評価日（課長等）	30年3月31日

1 事業名	内山霊園管理事業			コード	82102	
2 担当部課	部等	市民環境部	課等	市民環境課	作成者	吉沢 透
3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち			
		政策	循環型社会の構築	施策	環境衛生対策の推進	
		予算科目	霊園特会	業務委託	一部委託	
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	岡谷市霊園条例			

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要（簡潔に）	総区画（聖地）数 2, 8 1 2 区画		
目的	対象者	岡谷市に本籍又は住所を有する者	
	意図	聖地使用関係者及び一般来園者のため、安全で美観に配慮した維持管理を行う。	

5 施設の管理運営状況		29年度指定管理料	円
指定管理者			
施設における通常業務	園内施設等の維持管理業務		
事業の実施内容	<p>(29年度に施設で行った運営事業・自主事業など)</p> <ul style="list-style-type: none"> 園内管理業務、植栽整備、草刈業務等（シルバー人材センターへ委託） 使用区画数 2, 6 5 9 区画 聖地使用者新規募集 1 0 区画 使用料、管理料の徴収等 合葬式墓地「嶺風苑」新規使用者募集 4 5 2 件（個別埋蔵場所 1 2 7 件、共同埋蔵場所 3 2 5 件） 		
前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 合葬式墓地の新規使用者募集を実施した。 聖地（区画）再整備工事の区画数を増やした。 		

6 施設の利用状況	*①は貸館施設のみ対象（ただし年間開設日数は入力） *②・③はどちらかの欄に記入 *			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度（予算）
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	
年間開設日数（日）	360	359	359	359
1日の開設時間（時間）	8	8	8	8
年間利用可能時間（時間）	2,880	2,872	2,872	2,872
年間利用実績（時間）	2,880	2,872	2,872	
② 年間利用者数（人）	2,562	2,561	2,976	3,260
有料利用者数	2,562	2,561	2,976	3,260
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	7.1	7.1	8.3	9.1
⑤ 施設利用状況の説明	H28までは聖地使用者のみ、H29からは合葬式墓地使用者を含む。			

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	11,675,918	34,682,241	16,104,265	42,300,000
経常経費	11,675,918	11,732,241	16,037,267	17,465,000
臨時的経費	0	22,950,000	66,998	24,835,000
* 臨時的経費の説明	合葬式墓地整備工事(H28)、利子償還金(H29)、給水管布設替工事・合葬式墓地整備工事繰上償還等(H30)			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	4,640,000	4,640,000	2,400,000	2,400,000
正規職員の人数(人)	0.58	0.58	0.30	0.30
③ 合計コスト(①+②)	16,315,918	39,322,241	18,504,265	44,700,000
前年度比		241.0%	47.1%	241.6%
財源内訳				
一般財源	2,887,988	4,279,265	-29,013,475	16,200,000
特定財源	13,427,930	35,042,976	47,517,740	28,500,000
* 特定財源の説明	事業収入、諸収入 霊園整備事業債(28年度)、合葬式墓地使用者募集に伴う使用料(H29)			
④ 施設使用料年間収入額	13,411,710	12,140,470	47,512,370	28,464,000
⑤ 年間減免措置額	0	0	0	0
⑥ 受益者負担割合	114.9%	35.0%	295.0%	67.3%
⑦ 活動一単位あたりコスト	6,368	6,393	6,195	
前年度比		100.4%	96.9%	
⑧ コストに関する補足説明	合葬式墓地使用者募集に伴う使用料収入の増			

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価	* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。	妥当性	高い
評価項目		はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。		1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。		1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。		1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。		1	

9 有効性評価	* 有効性=施設の利用状況(項目6/住民の満足度)は向上しているか。	有効性	高い
評価項目		はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。		1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。		1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数 前年度比 116.2%	1	
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額 前年度比 391.4%	1	

●改善の内容(ACTION)

10 具体的な課題と改善	
課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること) <ul style="list-style-type: none"> 合葬式墓地の前年度募集残に対する対応。 聖地(区画)の新規使用者の増。 地上配管されている水道給水管の老朽化等に伴う対応。
改善方法	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容) <ul style="list-style-type: none"> 合葬式墓地の新規使用者募集を実施する。 聖地(区画)の新規使用者募集数を増やす。 水道給水管を地下埋設化する。
改善開始時期	平成30年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
内容	予定事業費	円	予定時期